

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
06461遊佐町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	中学校から中学3年生を対象にした学習支援の要望があること、塾に通う児童生徒の割合が低い(全国学力学習状況調査による)ことを背景に、授業以外の学習指導が課題となっている。	統括的な地域学校協働活動推進員が主体となり講師(地域ボランティア)を発掘し、中学校3年生を対象に学習支援塾を開催してきた。	・統括的な地域学校協働活動推進員が主体となり地域ボランティアを発掘し、学習支援員を配置する。 ・年間15回の学習支援塾を開催する。	学校以外で学習する習慣が身につく	中学校で年に2回実施される生徒アンケート調査における主体的な家庭学習への取り組みについて、3年生がA(当てはまる)と回答した割合(A～Dの4段階評価)	28	%	30	38	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて教え合いながら楽しく勉強できた、入試や模擬テストで目標点数を取ることができた等、参加した生徒から学習支援塾を高く評価する声が多く聞かれた。 ・中学校で実施した生徒アンケート調査の結果から、本年度の目標値を達成することができた。 ・土曜日の午前中に学習する習慣が身に付き、学習意欲の向上にもつながった。 ・継続する力や自ら意欲的に取り組む姿勢が身に付いた、	https://www.town.yuza.yamagata.jp/archive/contents-799